

令和4年度 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団事業計画

1 事業計画の概要

当財団の基本計画（令和元～10年度）では、「芸術・文化の3つの価値」（本来的・共同的・便益的）を実現するため、組織としてのミッションを5つ策定し、その次に位置づけるべき目標として、各施設を拠点とする事業と、施設管理運営の「ゴール」をそれぞれ定めています。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響を踏まえ、感染症対策と事業運営の両立を図るため、調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドラインに基づき、創意工夫を凝らしながら、以下のような観点から事業に取り組みます。

第一に、事業運営では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー継承のため、引き続き、財団独自のテーマである「100年後の君へ。」を掲げ、芸術・文化、生涯学習、コミュニティ各事業において、共生社会の推進、次世代への伝統文化の継承、地域の文化資源の活用、次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成などに取り組みます。

令和元年度から指定管理者として管理運営を開始したせんがわ劇場においては、市直営期から引き継いだ「せんがわ劇場運営プラン（平成25年度～令和4年度）」の見直しを図り、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の3施設の特性に合わせた一体的活用を推進し、また、社会状況の変化に応じて、新たな視点で自主事業の制作に取り組みます。

このほか、地域の多彩な人材・団体との連携と協働を推進し、多様な形式でアウトリーチやワークショップを行い、財団文化ボランティア「ちょうふアートサポーターズ（CAS）」の活動を活性化するなど、誰もが参加できる創造・活動の場をつくります。

第二に、施設管理運営では、感染症対策を確実にを行い、マスク着用や手指消毒、健康状態の確認など利用者にも協力を求めながら、安全・安心な施設運営に努めます。また、令和3年度から市が実施している設備更新型ESCO事業を踏まえ、適切な維持管理による施設の長寿命化と積極的な省エネルギー化により、ライフサイクルコストの削減に取り組みます。

災害対応については、令和3年度に締結した「災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定」に基づき、施設・設備を活用しながら、市と緊密に連携して、地震、風水害など様々な想定で訓練を行います。

第三に、組織運営では、多様な働き方と効率的な事務遂行のため、業務のペーパーレス化やオンライン化を推進します。また、芸術・文化に関する専門的な知識を深めながら、市との政策連携、市民や地域、関連分野との連携を推進できる総合的なスキルを備えたアートマネジメント人材の育成に引き続き取り組みます。

財務会計については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設利用料金収入と指定管理料の減収が複数年度にわたることが想定されることから、各事業規模の見直し、事務経費の削減、自主財源の拡充に努めます。

2 事業内容

基本計画に基づき、組織のミッションと事業のゴールの達成に向けて、市内の多彩な人材・団体との連携と協働を強く意識しながら、各事業を展開します。

一方で、市の財政状況や指定管理者制度の本旨を踏まえ、事務・事業の合理化や自主財源の拡充により、効果的・効率的な組織運営に努めます。

(1) 美術振興事業

ア 令和4年度 特徴的な取組

●水木しげる平和祈念展（仮）

名誉市民水木しげる氏の生誕100周年を迎え、11月30日の「ゲゲゲ忌」を含む期間に、平和祈念展を調布市と共催で開催します。

●「鬼原美希展 たびするおりびと」

綴れ織作家が、人生のドラマチックな瞬間や世界一周の船旅の経験を作品化したタペストリーを展示します。旅先で得た素材を作品に織り込む手法を活かし、材料の一部にフィルムを使用した、映画にまつわる物語の新作と製造過程の映像を発表します。

作家が回った土地ならではの織物文化のパネル展示やワークショップを通じて、見ることが少なくなった「織」の文化に親しみ、作家を経糸、調布のまちや来場者を緯糸として織り上げる一枚のタペストリーのような展覧会とします。

市の産業である「映画」からすくい上げた物語をテーマに、まちの資源でもある廃材を素材に作品を制作・展示することで、鑑賞者に文化芸術を身近に感じてもらい、地域振興と調布のブランド力向上を目指します。

イ 事業概要（特徴的な取組を除く。）

展示室では、調布市ゆかりの作家や新進作家による展示、親子で楽しめる展示企画を実施します。

また、各展示事業の中で子どもから大人まで、幅広くアートを楽しむことができる講演会、ワークショップなどを「TAC」プログラムとして、動画配信なども交えながら実施します。

なお、リトルギャラリーでは、市内で活躍する作家の多彩な作品・コレクションを紹介し、市民の自主的な芸術・文化活動を推進します。

(2) 芸術振興事業

ア 令和4年度 特徴的な取組

●調布国際音楽祭2022

10回目の節目の年として、今後の音楽界を担う若い演奏家たちの活躍の場を広げるとともに、西洋音楽の礎を築いたバッハを改めて見直す「“BACH” TO THE FUTURE ～未来へつなぐ音楽祭～」を開催します。調布での演奏が30年ぶりとなるNHK交響楽団や、国際的なピアニストらを招聘し、多彩なプログラムで音楽の楽しさを伝えるとともに、次世代の演奏家・鑑賞者の育成、市民のふれあい・交流の促進に取り組み、活気あふれるコミュニティをつくります。

また、年間を通じた連携企画として、若手演奏家のコンサートやバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーが出演するバロックコンサートなどを実施します。

●生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 クリスマスコンサート

若い世代に人気のシリーズを、サクソやドラムを入れた編成で実施します。公演の前に市内の小学生へのアウトリーチを実施します。

●現役世代コンサート（仮称）

仕事帰りにせんがわ劇場で楽しめる平日夜のコンサートシリーズを開始します。

●伝統芸能ワークショップ

令和2年度まで実施した調布能楽Odysseyから継続する伝統芸能の体験事業を実施します。

●親と子のクリスマスメルヘン「ヘンゼルとグレーテル」

ファミリー層にも人気のクリエイターを舞台美術、衣裳、宣伝美術等のビジュアルデザインに起用して独創的で色彩豊かな演劇作品を制作するほか、美術ワークショップや市内での作品展示等を行います。

●せんがわワークショップフェスティバル2022

乳幼児や障害者など劇場に足を運ぶことが難しい方を含め、多様な市民が劇場に集い、舞台芸術の創作体験を通じて相互理解を深めることを目指して、身体表現やリーディングなどのワークショップを実施します。

イ 事業概要（特徴的な取組を除く。）

芸術振興事業全体を通じて、地域の特性や市民ニーズを丁寧に分析し、各施設の特徴やこれまでの地域・団体等との信頼関係を生かしながら、文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場を一体的に活用し、より効果的に事業を展開します。

多彩で親しみやすい鑑賞の場として、「サンデー・マティネ・コンサート」、「せんがわミュージックライブ」、「Chofu JAZZ Junction」、「調布寄席」、「シアター寄席」などを定期的を開催するほか、新たに低価格で楽しめるコンサートシリーズを開始します。また、クラシック、ポップス、演劇、落語など幅広いジャンルにおいて、協定事業や提携事業を活用し、市民に鑑賞の機会を提供します。

誰もが参加できる創造・活動の場として、「小さな小さな音楽会」は全出演者を公募するほか、「ホールであなたもピアニスト！」や各種ワークショップ、アウトリーチ活動を実施します。

次世代の芸術家を育成するため、「せんがわ劇場演劇コンクール」や「せんがわピアノオーディション」、「桐朋学園オーケストラ グリーンホール定期」などを実施し、活動の場を広げます。また、鑑賞者育成の観点から、ファミリー層向けのコンサート、児童劇鑑賞教室、学校や地域でのアウトリーチを通じて、劇場文化の普及に取り組みます。

共生社会を推進するため、桐朋学園大学と連携し、障害のある方でもオーケストラを楽しめるコンサートを実施し、点字台本貸出や音声チラシ・パンフレットの作成、舞台セットに触るタッチツアー、集団補聴システムの活用などに取り組みます。

(3) 映像文化・メディア芸術事業

ア 令和4年度 特徴的な取組

●調布メディアアートラボ

子ども・ファミリー層向けに映像文化・メディア芸術の多様な魅力を発信することを目指して実施します。令和4年度は、パフォーマンスグループGRINDER—MAN（グライNDERマン）によるメディア・アート作品「HERO HEROINE（ヒーロー・ヒロイン）」を体験事業として実施し、市民のメディア芸術への関心を高めます。

イ 事業概要（特徴的な取組を除く）

5回目となる「映画のまち調布シネマフェスティバル」は、映画の作り手にスポットライトを当てるフェスティバルとして、より一層の定着を目指します。映画関連企業や協力

団体との連携・協力を深めながら、市民投票により選出されたノミネート作品の中から技術賞を授与する「映画のまち調布賞」の受賞作上映を軸として、トークショー、ワークショップ、展示などを実施します。

調布シネサロンは、「映画のまち調布」で映画の魅力を気軽に楽しめる大スクリーンでの上映会を通年で実施しています。無声映画を活動弁士・生演奏付きで上映するほか、ニーズの高い作品を中心に上映します。

また、文化庁との共催により、国立映画アーカイブ所蔵の映画フィルムを上映する優秀映画鑑賞推進事業を活用し、後世に残すべき名画を上映します。同時に、誰もが映画鑑賞を楽しめるよう、日本語字幕付き上映や保育サービスなどを実施し、幅広い市民ニーズに応えた事業を展開します。

ゲゲゲギャラリーでは、名誉市民である水木しげる氏を称えとともに、市民やファンに「調布の水木さん」の魅力を広く伝えるコーナーとして展開します。

(4) 文化祭事業

市民の芸術、芸能、生活文化（茶道、華道、書道など）、娯楽（囲碁、将棋）の普及及び相互の交流を図る場として、調布市、調布市教育委員会及び調布市文化協会とともに、「第67回調布市民文化祭」を実施します。

実施にあたっては、インターネットの活用などにより、年齢や障害の有無、時間や場所にかかわらず、誰もが観覧・鑑賞できる環境の整備を進めます。

(5) コミュニティ活性化事業

ふれあい・交流の場の創造と再生のため、夏を華やかに彩る「調布よさこい2022」を開催するほか、市民が自主的に取り組むコミュニティ活動への支援を行います。

「調布よさこい2022」は、市民主体による実行委員会のもと、共生社会を体現する事業の一つとして、誰もが参加できる社会づくりに努めます。開催にあたり、調布市が行う調布市パラアート展と協力し、本事業の更なる発展を目指していきます。

また、地縁団体組織、地域の商店街、福祉・障害者団体、教育機関など、多彩な人材・団体との連携と協働を深めながら、コミュニティの活性化に取り組みます。

(6) 芸術・文化学習事業

「ちょうふ市民カレッジ」では、新型コロナウイルス感染拡大による定員数や内容の制約を見据え、オンライン講座も実施しながら、市民の学習意欲に応えます。長年継続している陶芸講座については、初心者も参加しやすい形にリニューアルするほか、市民講師講座のベテラン講師を登用し、市民カレッジに統合します。

また、公演事業など他事業と連携した講座（美術、音楽、映像、演劇舞踊古典など）を実施します。

「美術展関連文化講演会」は、都内または近郊の美術館で開催される展覧会の主催団体と連携し、市民の学習ニーズに応える事業を実施します。

(7) 活動支援事業

市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動などが、円滑に充実して実施できるよう、テント、椅子、机、音響機器などの貸出しを行います。文化会館たづくりやグリーンホールでは保管ロッカー、印刷機器の貸出し、陶芸焼成設備を活用した作品焼成支援を行います。その他、後援名義の使用承認により、市民活動の社会的信用と公共

性を支援します。また、その支援をとおり、市民、団体とのコミュニケーションから市民活動の実情、実態、ニーズや課題を共有し、解決に取り組みます。

(8) 芸術・文化振興事業に係る市民との連携事業

財団文化ボランティア「ちょうふアートサポーターズ（C A S）」の活動を推進します。市民が芸術・文化の担い手として主体的に活動し、誰もが活躍できる社会づくりに取り組みます。

また、調布市が実施する「パラアート展」では、福祉・障害者団体、民間企業などと連携して、市民による芸術・文化活動を支援します。

(9) 広報・宣伝活動

前年度リニューアルした財団ホームページを中心に、ウェブアクセシビリティの確保と利便性向上の両立を図ります。また、SNSによる情報発信を積極的に行い、アクセス状況などを常時解析しながら、ホームページの情報に容易に辿り着くための道筋を作り、新たな顧客を呼び込むための情報提供を行います。

財団報ぱれっとや調布エフエムなどによる市内全域への広報は、内容のわかりやすさに比重を置き、インターネットやデジタルサイネージと連携させることで、時代に即した広報・宣伝活動を行っていきます。

(10) コミュニケーション活動

会員制度「ちょうふアートプラス」の入会者増加と満足度向上のため、制度の充実と周知を継続して行います。また、市内の飲食店と広報やサービスの相互連携を促進させるとともに、渉外活動を活発化し、財団事業における他団体との連携を推進します。

(11) 施設管理運営

感染症対策を確実に言い、マスク着用や手指消毒、健康状態の確認など利用者にも協力を求めながら、安全・安心な施設の運営に努めます。人々が自然に寄り集う施設となるよう、窓口やアンケートなど多様な手段を通じて寄せられる様々な意見をくみ取り、可能な限り利用者の声を反映させます。また、障害者差別解消法や調布市の計画に基づき、バリアフリーを推進し、誰もがアクセスでき、参加しやすい施設運営に取り組みます。

施設のライフサイクルコスト削減のため、空調・照明設備の運用を絶えず検証し、省エネルギー化を推進するとともに、設備の劣化状況を踏まえ、部品交換等を適切に実施することで、建物全体の長寿命化を図ります。令和3年度から市が実施している文化会館たづくりの設備更新型E S C O事業では、引き続き積極的な情報提供を行い、事業効果をさらに高めます。

文化会館たづくりでは、市が実施する改修工事がくすのきホール、大会議場、映像シアター、むらさきホールで予定されているため、利用者に対する周知を適切に行います。

(12) 人材育成

「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」や調布市の総合計画など、基本的な施策を踏まえた事業展開をしていくため、調布市の行政実務研修に中核職員を引き続き派遣し、市と緊密に連携しながら人材育成を推進します。

令和3年度から試行導入した目標管理型人事評価制度を本格稼働し、職員の意欲・やりがいを向上させることで、組織の活性化を促進します。

芸術・文化に関する専門知識だけでなく、市との政策連携、市民や地域、関連分野との

連携を推進できる総合的なスキルを備えたアートマネジメント人材が求められることから、職層別による出張研修やeラーニングに継続して取り組み、組織力・人材力を強化します。

(13) 業務のデジタル化

多様な働き方と効率的な事務遂行のため、業務のペーパーレス化、オンライン化に関する試行導入を進め、電子決裁、電子契約、リモートワークの安定的な稼働に向けて検証を行います。

3 実施事業の内容

※ 事業区分について

指定管理事業	当財団が指定管理者として実施する事業
共催等事業	当財団が芸術・文化に携わる団体等と共に実施する事業
独自事業	当財団が独自で実施する事業
受託事業	当財団が市から受託する事業

(1) 共催等事業・独自事業

ア 芸術振興事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
音楽祭事業	【目的】 芸術・文化の普及, 振興を目的に良質な音楽事業を展開し, 市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。 鑑賞及び市民参加型の事業を通じて「音楽のあるまち」を推進するとともに, 次世代の育成, 市民の交流, 地域の活性化を促進する。 【内容】 音楽祭10回目につき内容全体を拡充する。 鑑賞プログラムでは, 幼少期から音楽に親しめる親子向けコンサートから世界を代表するアーティストのコンサートまで幅広い内容を実施するとともに, 鑑賞者の手引きとなるワークショップなどを実施する。 市民参加型プログラムでは, 次世代の舞台芸術活動者への活動機会提供として, 若手演奏者がトップレベルの奏者の指導を受けながら共演するオーケストラ公演や, 市内の音楽大学生による公演を実施する。さらに, 市内音楽愛好家による公演の出演者や市内のサポート事業者, 財団文化ボランティア(CAS), 市民・地域と連携して運営する。 【費用】 参加費は実費負担, 鑑賞公演は, 収支バランスに見合った参加しやすい価格設定とするほか, 無料公演も設定する。 【4年度予定】 調布国際音楽祭2022 ・鑑賞を主とするプログラム - オーケストラ公演 - 室内楽公演 - 子ども向け公演(体験型含む) - ワークショップ ・市民参加型プログラム - フェスティバルオーケストラ公演(公募制) - 市内音楽愛好家による公演(公募制) - 市内音楽大学生による公演 ほか 【会場】 グリーンホール, せんがわ劇場, 深大寺 ほか 【集客戦略】 ・10回目にあたり原点であるバッハに回帰するテーマ性を打ち出すとともに, プロデューサーの知名度を活用するほか, ショパンコンクールで活躍した若手演奏家を起用して注目度を高める。	1回	40,612	共催等事業

	・調布に30年ぶりとなるNHK交響楽団ほか知名度のある出演者を起用し、親しみやすいプログラムでクラシック初心者から気軽に楽しめるようにする。 ・協定事業を実施している団体と連携を図り、幅広い層の集客に努める。 ・感染症対策を考慮した販売枚数を設定する。 ・対象となる客層に合わせた媒体による広報を工夫する。 ・SNSやデジタル媒体などを活用した告知に努める。 ・段階的な情報公開により宣伝効果を高める。 ・ジュニア招待枠の設定やスポンサーシートの販売を行い支援者層を広げる。			
共催等事業	【目的】 芸術・文化に携わる団体等と事業を共に実施し、市民の芸術・文化活動を後援することで、一層の市民の芸術・文化の普及を図る。 【内容】 ・共催事業 調布市及び関連団体、他自治体や財団等との共催により実施する。 ・協定事業 調布市にゆかりのある芸術団体等と協定を締結し、年間を通して公演やワークショップ等を実施する。 ・提携事業 当財団の自主事業の企画意図に沿うもの、自主事業を補完することのできるものを民間団体等と提携して実施する。 【費用】 一部有料事業あり 【4年度予定】 ・共催事業 調布よさこい2022 調布国際音楽祭2022 映画のまち調布 シネマフェスティバル2023 第67回調布市民文化祭 ・協定事業 バッハ・コレギウム・ジャパン 調布市民歌舞伎 桐朋学園オーケストラ ・提携事業 美術展関連講演会 など 【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場及び市内全域	30回	73,063	共催等事業

イ 映像文化・メディア芸術事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業、(7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
映画のまち調布 シネマフェスティバル	【目的】 「映画のまち調布」を推進するため、調布市における映画の歴史及び映像文化に親しむ機会を提供し、地元根ざした芸術・文化の振興を図る。			共催等事業

	【内容】 調布市との共催事業とする。企画運営は、当財団を事務局とした、調布市、市内映画関連企業等で構成された実行委員会が行う。 映画関連企業・協力団体等との連携・協力のもと、「映画の作り手」にスポットを当て、日本映画人気投票により選出されたノミネート作品から技術賞を授与するほか、受賞作の上映、トークショー、ワークショップ、関連展示等を実施する。 【費用】 映画鑑賞券 前売500円 当日800円 (一部展示などのイベントは無料) 【4年度予定】 映画のまち調布 シネマフェスティバル 2023 【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール ほか 【集客戦略】 ・調布市や市内の映画関連企業などの団体と連携し、相乗効果が期待できるイベントを同日開催するなど、PRに努める。 ・実行委員が持つ宣伝・広報媒体に情報を掲載し、より広域な情報発信を行う。	1回	16,317	
調布メディアアートラボ	【目的】 映像文化・メディア芸術の振興のために、他事業でカバーできていないジャンルの多様な魅力を紹介する。 【内容】 「ショートアニメーション作品」「インタラクティブアート」「映像を使用したパフォーマンス」などを想定し、子ども・親子向けに毎年1ジャンルずつ紹介する。 【費用】 入場料・参加費は無料も視野に、参加しやすい価格設定とする。 【4年度予定】 調布メディアアートラボ「映像を使用したパフォーマンス」 【会場】 文化会館たづくり 【集客戦略】 インターネットを活用するとともに、他の映像文化・メディア芸術事業の実施時に告知を行うなど、PRに努める。	1回	1,312	独自事業

ウ 文化祭事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
調布市民文化祭	【目的】 市民の芸術、芸能、生活文化(茶道、華道、書道、その他の生活に係る文化)活動の振興、国民娯楽(囲碁、将棋、その他の国民的娯楽)の普及及びこれを通じた文化交流や地域の振興を図る。			共催等事業

	【内容】 たづくりやグリーンホールを会場に、いけばなや工芸美術などの展覧・展示会、囲碁、将棋、演劇、民謡、歌謡などの大会・発表の場として開催する。調布市、調布市教育委員会、調布市文化協会及び当財団による4者主催で実施する。 【費用】 参加者：出品、出演に一部費用負担あり 観覧者：無料 【4年度予定】 第67回調布市民文化祭 【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール ほか	1回	4,421	
--	---	----	-------	--

エ コミュニティ活性化事業

定款第4条	(2) コミュニティ活動の振興事業、(7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
コミュニティ 活性化事業 (調布よさこい)	【目的】 地域の振興と市民の活動、交流の活性化を図る。 【内容】 年間を通じて、楽曲や鳴子などの提供、振付講師の派遣や出張パフォーマンス、鳴子制作のワークショップ、フォトコンテストなどを実施し、市民がともに取り組みやすい環境整備に努めるほか、地縁組織、地域の商店街、福祉・障害者団体などあらゆる組織との連携を深めながら、まちの活性化に取り組む。 【費用】 無料(一部費用負担あり) 【4年度予定】 ・調布よさこい2022 調布駅前広場を中心に、よさこい踊りの演舞披露や実行委員などによる企画を実施する。 ・普及・支援・魅力発信 楽曲や鳴子などの提供、振付講師の派遣や出張パフォーマンス、鳴子制作のワークショップ、フォトコンテストなどを実施する。 【会場】 市内各所	通年	8,994	独自事業
コミュニティ 活性化事業 (その他)	【目的】 地域の振興と市民の活動、交流の活性化を図る。 【内容】 市民の地域における主体的な活動への助言、参画、実状に合わせた環境づくり、サポートを必要とする活動の掘り起こしに努める。 ・地域福祉センター交流のかけはし ・自治会などの地域交流イベント など 【費用】 無料 【4年度予定】 10件程度 【会場】 市内各所	通年	393	独自事業

オ 活動支援事業

定款第4条	(4) 芸術・文化、コミュニティ、生涯学習事業への援助, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
市民団体支援 (コミュニティ用具の貸出し)	【目的】 市民の主体的, 自主的な地域活動, 芸術, 芸能, 生活文化活動等が円滑に充実して実施できるようサポートし, 振興を図る。 【内容】 テント, 椅子, 机, 音響機器等のイベント運営機器, 機材の貸出しを行う。 【費用】 無料 【4年度予定】 50件程度 【会場】 市内各所	通年	126	独自事業
市民団体支援 (その他)	【目的】 市民の主体的, 自主的な地域活動, 芸術, 芸能, 生活文化活動等が, 円滑に充実して実施できるようサポートし, その振興を図る。 【内容】 市民の自主的な活動を後援し, また芸術・文化団体の高度な活動を支援する。 【費用】 無料 【4年度予定】 20件程度 【会場】 市内各所	通年	1,004	独自事業

カ 文化ボランティア

定款第4条	(4) 芸術・文化、コミュニティ、生涯学習事業への援助, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
ちょうふアートサポーターズ	【目的】 ボランティアとして当法人が主催・提携する事業に参加することで, 芸術・文化の振興, コミュニティの形成と活性化を推進する。 【内容】 文化ボランティア組織「ちょうふアートサポーターズ」に市民を募集する。市民が芸術・文化の貴重な担い手として積極的に活動することで, 誰もがいきいきと活躍できる地域コミュニティづくりを推進する。 【費用】 ボランティア保険料500円(年間) 【4年度予定】 調布国際音楽祭2022 映画のまち調布 シネマフェスティバル2023 せんがわ劇場事業 ほか 【会場】 文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場 ほか	100回	428	独自事業

キ 広報・宣伝・コミュニケーション活動

定款第4条 (5) 芸術・文化、コミュニティ、生涯学習事業に関する情報の収集及び提供, (7) その他				
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
広報活動	【目的】 市内の芸術・文化に関する情報を包括的に担い、調布市全域の芸術・文化の振興に寄与する。 【内容】 財団報ぱれっとの発行やホームページ、パブリシティを通じて市内の芸術・文化に関する情報を広く社会に知らせる。 ・財団報ぱれっと 当財団の事業や施設利用者の発表会、展示の案内など、市内の芸術・文化に関する情報全般の広報紙として作成する。市内戸別配布のほか、文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、その他市内公共施設で配布する。 【費用】 無料 【4年度予定】 4ページ発行 8回 8ページ発行 4回 ・ホームページ、FM放送を活用した情報の発信 【内容】 ホームページやFM放送などを活用し、いつでも誰でも情報にアクセスできる環境を維持する。ウェブアクセシビリティの確保と利便性向上を相互に実現し、時代に即した広報活動を行う。また、市内の芸術・文化イベント情報や、地域性、公共性の高い情報の定期的発信や公共施設への理解を深めるための施設見学なども実施する。 【費用】 無料 【4年度予定】 ・財団ホームページを中心に、ウェブアクセシビリティの確保と利便性向上を相互に図る。 ・SNSによる情報発信を積極的に行う。 ・施設見学、紹介	通年	24,192	独自事業
宣伝活動	【目的】 主催事業について効果的・効率的なプロモーションを展開し、より多くの市民に参加を促す。 【内容】 対象となる参加者を見据えた体験イベントや公開リハーサルなどの関連企画を実施する。チラシやリーフレットの配布のほか、SNS、新聞広告欄や催事情報欄、専門雑誌、フリーペーパーなどへの掲載など、マスメディアを活用した多種多様なアプローチを展開する。 ※詳細は各事業にて展開	通年	-	独自事業

コミュニケーション活動	【目的】 各事業において観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業など、関連分野における施策や団体等と有機的に連携するための渉外活動を担う。 【4年度予定】 ・ちょうふアートプラス会員制度の周知とサービスの充実による会員満足度の向上 ・各事業と様々な分野との有機的な連携を図る 調布市教育委員会、調布市国際交流協会、調布市社会福祉協議会、調布市観光協会、調布市商工会ほか	通年	8,360	独自事業
-------------	--	----	-------	------

(2) 文化会館たづくり事業（指定管理事業）

ア 美術振興事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
美術振興展示	【目的】 年間を通じて様々な展示を行い、芸術鑑賞の場を提供し、市民の芸術・文化への関心や理解を深める。 また、作品の展示を通して市民の芸術・文化活動の活性化を図る。 【内容】 調布市ゆかりの作家や新進気鋭のアーティスト等の展覧会を開催するとともに、ワークショップや講演会を行い、将来の担い手である若年層を主対象に、作品の理解を深める機会（TACプログラム）を動画配信等も交えながら提供する。市内の廃材・端材で創作活動を行うクリエイティブリユースでアート!では、市民が制作したパーツを集めて作家が一つの作品を生み出し、自身の作品と合わせて展示する。また、通路壁面の展示スペースを使って市民の優れた作品を展示する。 【費用】 無料（一部ワークショップは材料費等の徴収あり） 【4年度予定】 ・絵本原画展（令和3年度から延期） ・陶の立体作品展（令和3年度から延期） ・マスキングテープ絵画展 ・水木しげる平和祈念展（仮） ・武者小路実篤記念館移動展 ・つづれ織り展 ・リトルギャラリー作品展（6回） 【会場】 展示室（文化会館たづくり1階） リトルギャラリー（文化会館たづくり9階） 【集客戦略】 ・SNSを利用した情報の拡散。 ・若い世代向けに、インターネット等での有料広告を使った宣伝を行う。 ・子ども・若者向けの展示や市内作家の展示に当たっては、市内のアート団体や子育て団体のネットワークを利用した宣伝を行う。 ・ワークショップや講演会などのTACプログラムを動画配信等も交えながら充実させ、展示への興味を高める。	12事業	14,528	指定管理事業

イ 芸術振興事業

定款第4条 (1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他				
事業名	目的・内容等	回数等	予算額 (千円)	事業区分
音楽事業	【目的】 芸術・文化の普及, 振興を目的に良質な音楽事業を展開し, 市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。 【内容】 鑑賞事業では, 多彩で良質な事業を実施し, 親しみやすく, 誰もが芸術・文化に触れることができる場を提供する。 市民参加型事業では, 活動を発表できる場を提供し, 舞台芸術活動を行う市民の裾野拡大に取り組む。 【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。 小さな小さな音楽会は無料とする。 【4年度予定】 ・鑑賞を主とする事業 古楽コンサート ファミリーコンサート ・市民参加型事業 小さな小さな音楽会 (6回) 【会場】 くすのきホール (文化会館たづくり2階) むらさきホール (文化会館たづくり1階) ほか 【集客戦略】 ・協定事業を実施している団体と連携を深めながら, 幅広い層の集客に努める。 ・市内での事業紹介により, 公演来場者の市内率向上を図る。 ・市民参加型事業を実施することで, より身近な施設であることをアピールする。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対応や施設工事の状況に合わせて, 会場の設定を柔軟にすることで, 事業回数を確保して鑑賞者・参加者の拡大に取り組む。	8回	2,097	指定管理事業
演劇舞踊古典事業	【目的】 芸術・文化の普及, 振興を目的に良質な演劇舞踊古典事業を展開し, 市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。 【内容】 幅広い世代に演劇・舞踊及び日本の優れた古典芸能に親しむ機会を提供する。 次世代の鑑賞者育成や伝統文化継承の長期的視点から, 子どもや親子を主な対象とした事業を実施する。 【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。 【4年度予定】 ・鑑賞を主とする事業 シアター寄席 【会場】 映像シアター (文化会館たづくり8階) 【集客戦略】 ・丁寧な事業紹介により, 公演来場者の市内率向上を図る。 ・多角的な演出を取り入れ, 障害の有無にかかわらずあらゆる人が参加できる内容にする。	1回	334	指定管理事業

協定・提携事業	【目的】 芸術・文化の普及，振興を目的に，市民に良質かつ気軽な芸術文化体験を提供する。 【内容】 調布市ゆかりの芸術団体等と協定を締結し，年間を通して公演や公開リハーサルなどを実施する。当財団の主催事業の企画意図に沿うもの，自主事業を補完することのできるものを民間事業者等と提携して実施する。 【費用】 有料 【4年度予定】 ・協定事業 バッハ・コレギウム・ジャパン公開リハーサル ・提携事業 【会場】 くすのきホール（文化会館たづくり2階） 【集客戦略】 ・地域の人材を活用した公開リハーサル等を定例的に実施し，芸術に親しむ機会をより身近なものとする。 ・バックステージツアーなどで，事業への関心を高める。	3回	2,111	共催等事業
---------	---	----	-------	-------

ウ 芸術・文化学習事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業， (3) 生涯学習事業， (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）	事業区分
ちょうふ市民カレッジ	【目的】 芸術・文化の学習の場を提供し，市民自らが文化を創造する契機とすることで，調布市における芸術・文化の振興を図る。 【内容】 美術，音楽，映像，演劇舞踊古典など，市民が芸術・文化の教養を深める機会となる場を提供する。新型コロナウイルス感染拡大の状況による会場の定員数の減少などを見据え，オンライン講座も実施しながら芸術・文化の裾野の拡大に努める。これまで同様，当財団の他の事業と連携した講座を積極的に実施する。そのほか，長年継続している陶芸講座を初心者も参加しやすいようにリニューアルする。市民講師講座のベテラン講師を登用し，市民カレッジに統合する。 【費用】 講師謝礼及び材料費等の実費 【4年度予定】 期間：前期（5～9月）， 後期（11～3月），単発（随時） 講座分野：音楽，演劇舞踊古典，映像，美術分野の座学・実技，子ども向け実技 【会場】 文化会館たづくり及び館外 【集客戦略】	28講座	7,756	指定管理事業

	・特にオンライン講座について、SNSなどインターネットを利用した広報に努める。 ・オンライン講座も含め、申込方法や支払い方法を検討し、より受講しやすい体制を整える。 ・他事業や大学と連携し、市民のさまざまなニーズに合わせた企画や宣伝を工夫する。 ・子ども向け講座は、市内団体と協力して実施するとともに、他事業との連携などにより講座終了後に発表の場などを提供し、講座の魅力を高める。			
提携講演会	【目的】 芸術・文化に携わる団体等と、事業を共に実施することで、より一層の市民の芸術・文化の普及を図る。 【内容】 当財団の自主事業の企画意図に沿うもの、自主事業を補完することのできるもの、宣伝効果の高い自主事業と関連するものを民間事業者等と積極的に提携して実施する。 【費用】 無料 【4年度予定】 ・美術展関連文化講演会 【会場】 文化会館たづくり グリーンホール 【集客戦略】 ・民間事業者が募集を行う企画の中から、市民ニーズの高い内容の事業を積極的に誘致する。	2回	168	共催等事業

エ 映像文化・メディア芸術事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
ゲゲゲギャラリー	【目的】 名誉市民である水木しげる氏を称えるとともに、市民やファンに「調布の水木さん」の魅力を伝える場を提供する。 【内容】 様々な妖怪等を描いた水木作品を通年で紹介する。 【費用】 無料 【会場】 ゲゲゲギャラリー（文化会館たづくり1階）	2回	195	独自事業

オ 活動支援事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
市民団体支援 (サークルロッカー等の貸出し)	【目的】 市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動等を支援し、活性化を推進する。 【内容】 文化会館たづくり・グリーンホール施設利用団体向けにサークルロッカー等の貸出しを行う。 【費用】 無料 【4年度予定】 第14期（令和4年度～令和5年度）	通年	25	指定管理事業

市民団体支援 (印刷機貸出し)	【目的】 市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動等を支援し、活性化を推進する。 【内容】 文化会館たづくり・グリーンホール施設利用団体等に印刷機講習会を行い、印刷機の貸出しを行う。 【費用】 印刷機講習会及び印刷機利用とも無料 製版のみ1枚につき100円 【4年度予定】 印刷機講習会の実施（毎月1回）及び貸出し 【会場】 印刷室（文化会館たづくり11階）	通年	764	指定管理事業
焼成支援	【目的】 市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動等を支援し、活性化を推進する。 【内容】 陶芸作品の素焼き、釉（ゆ）掛け、本焼きを行う。 【費用】 作品のサイズにより異なる。 【4年度予定】 2回実施 【会場】 作品受付：財団管理事務室前（文化会館たづくり7階） 施釉（せゆう）：第2創作室（文化会館たづくり11階） 焼成：陶窯室（文化会館たづくり地下1階）	2回	149	指定管理事業

カ 施設管理運営

定款第4条	(6) 受託する施設の管理運営，(7) その他，2 収益事業			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）	事業区分
調布市文化会館たづくり施設管理運営	【目的】 市民の芸術・文化の振興を図る。 【内容】 調布市文化会館たづくり条例，同条例施行規則に基づき，施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に，利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。 【費用】 指定管理者の基本協定に基づき，調布市文化会館たづくり条例に規定されている金額を上限とした施設利用料金及び附帯設備利用料金等 【4年度予定】 施設利用者アンケートを活用した満足度の向上を図る。 ・目標入館者数 189万人 ・目標施設利用率 ホール系：83% 会議室系：70%	通年	642,560	指定管理事業
施設運営の収益事業	【内容】 施設運営の収益事業 ・文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場各施設の貸出し及び施設備品貸出し	通年		

	・文化会館たづくり 1 階・2 階・7 階・8 階・10 階, 12 階, グリーンホール 1 階・2 階, せんがわ劇場 3 階への飲料自販機の設置 ・文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場で実施される各公演 (音楽鑑賞, 芸術鑑賞) の預かりチケットの販売 ・公演, 展示の資料販売 (CD, 書籍等) ・文化会館たづくり地下 1 階, 地下 2 階の駐車場運営 ・文化会館たづくり 1 階コインロッカー貸出し ・文化会館たづくり 7 階コピー機サービス			
施設管理業務	【内容】 文化会館たづくり館内施設のうち, 調布市から行政財産使用許可を得て, 他団体等が使用している部分と, 調布市が使用している東館 11 階及び西館全体の行政使用部分の施設管理業務	通年		
図書館の施設管理業務	【目的】 図書館の適切な管理 【内容】 電気, 機械, 空調設備等の施設及びこれに付帯する設備の操作, 維持管理保全や清掃, 警備, 施設, 設備の軽微な補修, 施設運営の維持経費である公共料金の支払いを行う。	通年		受託事業

(3) グリーンホール事業 (指定管理事業)

ア 芸術振興事業

定款第 4 条	(1) 芸術・文化の振興事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額 (千円)	事業区分
音楽事業	【目的】 芸術・文化の普及, 振興を目的に良質な音楽事業を展開し, 市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。 【内容】 鑑賞事業では, 多彩で良質な事業を実施し, 親しみやすく, 誰もが芸術・文化に触れることができる場を提供する。また, 共生社会を推進するため, 障害者とともに舞台芸術に触れることができる事業を実施する。 市民参加型事業では, 舞台芸術活動を体験できる場を提供し, 舞台芸術活動を行う市民の裾野拡大に取り組む。 広く市民に機会を提供する観点と次世代の芸術家・鑑賞者育成の長期的視点から, 館外での事業を併せて実施する。 【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。 【4 年度予定】 ・鑑賞を主とする事業 - クリスマスコンサート - リーズナブルコンサート - 若手演奏家コンサート - ジャズコンサート - 共生社会推進プログラム ・市民参加型事業 - 大ホールピアノ弾きこみ事業 【会場】 ・グリーンホール ・市内公共施設等	6 回	8,254	指定管理事業

	【集客戦略】 ・丁寧な事業紹介により、公演来場者の市内率向上を図る。 ・低価格公演を増やし、より気軽に参加しやすくする。 ・共生社会推進事業を実施することで、より開かれた身近な会館であることを示す。			
演劇舞踊 古典事業	【目的】 芸術・文化の普及、振興を目的に良質な演劇・舞踊・古典事業を展開し、市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。 【内容】 幅広い世代に演劇・舞踊及び日本の優れた古典芸能に親しむ機会を提供する。 【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。 【4年度予定】 ・鑑賞を主とする事業 - 児童劇鑑賞教室 - 落語公演 - 古典芸能ワークショップ 【会場】 グリーンホール 【集客戦略】 ・児童劇鑑賞教室は、市内、近隣の幼稚園、保育園と連携して実施する。良質な演目を選定し、鑑賞しやすいチケット料金を維持し、より多くの市内の子どもたちの集客に努める。 ・落語公演では、より丁寧な事業紹介により、公演来場者の市内率向上を図る。 ・令和2年度まで実施した調布能楽Odysseyで育んだ市民の能楽への関心と、他団体と構築したネットワークを活用してワークショップを実施することで、来場者の拡充に取り組む。	4回	3,348	指定管理 事業
協定・提携 事業	【目的】 芸術・文化の普及、振興を目的に、市民に良質かつ気軽な芸術文化体験を提供する。 【内容】 調布市ゆかりの芸術団体等と協定を締結し、年間を通して公演や公開リハーサルなどを実施する。当財団の主催事業の企画意図に沿うもの、自主事業を補完することのできるものを民間事業者等と提携して実施する。 【費用】 有料（一部無料） 【4年度予定】 ・協定事業 - バッハ・コレギウム・ジャパン公開リハーサル - 桐朋学園オーケストラ グリーンホール定期 ・提携事業 - オーケストラ公演 - ポピュラー歌手公演 - 和太鼓公演 - ファミリー演劇 - 落語公演 - 市民オペラ	約20回	-	共催等事業

	【会場】 グリーンホール 【集客戦略】 ・地域の人材を活用した公開リハーサル等を定例的に実施し、芸術に親しむ機会をより身近なものとする。 ・提携事業では、幅広く多様化した市民ニーズを踏まえた事業を積極的に誘致し、提携先と協力しながら宣伝活動を行う。			
--	--	--	--	--

イ 映像文化事業

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
調布シネサロン	【目的】 「映画のまち調布」を推進するため、気軽に映画・映像を楽しめる事業を展開する。 良質な映画を提供することで、鑑賞機会の拡大と映像文化の振興を図る。 【内容】 無声映画を活動弁士・生演奏付きで上映するほか、ニーズの高い作品を中心に上映する。また、文化庁との共催で優秀映画鑑賞推進事業として、後世に残すべき名画の上映も行う。新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、全席指定の事前申込制(チケットを販売)とする。また、小さなお子様連れを配慮した上映や保育サービスの実施など、誰もが参加しやすい、幅広い市民ニーズに応えた上映方法を取り入れる。 【費用】 入場料 前売500円。当日800円。 活動弁士・生演奏付き上映は1,500円。 【4年度予定】 ・映画上映会 ・活動弁士・生演奏付き無声映画上映会 ・優秀映画鑑賞推進事業 【会場】 グリーンホール 【集客戦略】 ・他の事業やシネマコンプレックスと連携することで相乗効果を図り、集客につなげる。 ・後世に残すべき名画を上映することで、映画鑑賞者の増加に努める。	10回	2,671	指定管理事業

ウ 施設管理運営

定款第4条	(1) 芸術・文化の振興事業, (3) 生涯学習事業, (7) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)	事業区分
調布市グリーンホール施設管理運営	【目的】 市民の芸術・文化の振興を図る。 【内容】 調布市グリーンホール条例, 同条例施行規則に基づき、施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に、利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。 【費用】 指定管理者基本協定に基づき、調布市グリーンホール条例に規定されている金額を上限とした施設利用料金及び附帯設備利用料金等	通年	169,449	指定管理事業

	【４年度予定】 施設利用者アンケート等により満足度の向上を図る。 ・目標施設利用率 ８４％			
--	--	--	--	--

(4) せんがわ劇場（指定管理事業）

ア 芸術振興事業

定款第４条	（１）芸術・文化の振興事業，（７）その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）	事業区分
音楽事業	【目的】 芸術・文化の普及，振興を目的に良質な音楽事業を展開し，市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。 【内容】 鑑賞事業では，多彩で良質な事業を実施し，親しみやすく，誰もが芸術・文化に触れることができる場を提供する。市民参加型事業では，子どもから大人まで，家族で楽しめる事業や舞台芸術活動者としてステップアップを目指す人の発表の機会となる事業を実施する。 【費用】 無料（一部有料） 【４年度予定】 ・鑑賞を主とする事業 サンデー・マティネ・コンサート（７回） せんがわミュージックライブ（４回） せんがわピアノオーディション 受賞コンサート（１回） 現役世代向けコンサート（２回） ・市民参加型事業 せんがわ劇場ピアノオーディション（１回） ファミリー音楽プログラム（１回） 【会場】 せんがわ劇場 【集客戦略】 音楽を楽しむことができるよう，趣向を凝らした公演を実施し，新たな顧客を創出する。また，文化会館たづくりやグリーンホール事業へのPRを行うことで，出演者の編成などステップアップした展開を図る。	16回	4,127	指定管理事業
アウトリーチ事業（音楽）	【目的】 劇場外で実施する表現活動を通して，次世代を担う子どもたちが生涯を通じて舞台芸術に親しみ，舞台芸術とふれあえる体験の機会を提供する。 【内容】 市内各施設に音楽家を派遣し，ニーズに合わせた音楽プログラムを実施する。また，施設への演奏家派遣の前段階として，市内団体等をせんがわ劇場に招待し，参加型鑑賞コンサートを実施する。 【費用】 無料（参加者） 【４年度予定】 緑ヶ丘小学校 ほか 【会場】 市内小学校 ほか	通年		
演劇・舞踊事業	【目的】 芸術・文化の普及，振興を目的に良質な演劇事業，市民参加事業を展開し，市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会を提供する。			指定管理事業

	【内容】 鑑賞事業では、多彩で良質な事業を実施し、親しみやすく、誰もが芸術・文化に触れることができる場を提供する。市民参加型事業では、演じることの楽しさや舞台芸術への理解を深める事業や舞台芸術活動者としてステップアップを目指す人の発表の機会となる事業を実施する。 【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。 【4年度予定】 ・鑑賞を主とする事業 せんがわ劇場演劇コンクール受賞公演（2回） 親と子のクリスマス・メルヘン（1回10公演） ・市民参加型事業 せんがわワークショップ・フェスティバル2022（1回） せんがわ劇場演劇コンクール（1回5団体） 【会場】 せんがわ劇場 ほか 【集客戦略】 市内全域はもとより、市外からも足を運んで演劇を楽しんでもらえるよう、効果的な広報を行う。	5回	12,603	
アウトリーチ事業（演劇）	【目的】 劇場外で実施する演劇的身体表現や表現活動を通して、次世代を担う子どもたちが生涯にわたり舞台芸術に親しみ、舞台芸術とふれあえる体験の機会を提供する。 【内容】 市内各施設に舞台実演家を派遣し、コミュニケーションスキルの向上など、ニーズに合わせた演劇プログラムや鑑賞型ワークショップを実施する。 【費用】 無料（参加者） 【4年度予定】 第七中学校、第七中学校はしうち教室ACW、デイサービスわかば仙川店、柏野小学校、神代中学校、白百合女子大学りすぶらん・あんふあん ほか 【会場】 市内小中学校 ほか	通年		
地域連携事業	【目的】 せんがわ劇場を拠点とし、地域との信頼関係を深めるとともに、地域の舞台芸術活動を積極的に支援する。 【内容】 せんがわ劇場を拠点とし、仙川地域の商店街や学術機関と連携しながら、それぞれの特徴を生かした事業を実施する。 【連携先】 ・仙川商店街協同組合 ・桐朋学園芸術短期大学 ・白百合女子大学	3回	300	指定管理事業

	【費用】 無料（一部有料） 【４年度予定】 ・おらほせんがわ夏まつり（１回） ・２０２２年度桐朋学園芸術短期大学二専攻合同公演専攻科演劇専攻53期修了公演（１回） ・白百合おたのしみ劇場＋単年度企画（１回） 【会場】 せんがわ劇場			
--	---	--	--	--

イ 施設管理運営

定款第４条	(１) 芸術・文化の振興事業, (３) 生涯学習事業, (７) その他			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）	事業区分
調布市せんがわ劇場施設管理運営	【目的】 市民の芸術・文化の振興を図る。 【内容】 調布市せんがわ劇場条例, 同条例施行規則に基づき, 施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に, 利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。 【費用】 指定管理者の基本協定に基づき, 調布市せんがわ劇場条例に規定されている施設利用料金及び附帯設備利用料金等 【４年度予定】 ・施設利用者アンケート等により満足度の向上を図る。 ・目標施設利用率 91%	通年	51,984	指定管理事業